

# 季刊 ジャネット Ja-Net

Ja-NetはJapanese Networkの略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

No. 56

2011年1月25日発行

- ◆ View from the Other Side ..... 3
- ◆ あちこち日本語ご紹介  
(愛知県名古屋市) ..... 4
- ◆ あちこち日本語ご紹介  
(ミクロネシア連邦ポンペイ島) ..... 5
- ◆ 教材紹介 ..... 6
- 『日本語初級1 大地 教師用ガイド』  
『初級日本語学習者のための  
待選コミュニケーション教育』  
『改訂版 読むトレーニング 基礎編・応用編』
- ◆ なんでも情報BOX ..... 6

スリーイーネットワーク

## 巻頭寄稿

# 多文化・多言語環境に生きる子どもたち

『サードカルチャーキッズ 多文化の間で生きる子どもたち』共訳者 日部八重子



## サードカルチャーキッズとは

筆者が「サードカルチャーキッズ」という言葉を知ったのは、2005年、シンガポールに海外赴任した時でした。夫の会社の海外赴任パッケージには現地における多文化セミナーが含まれており、家族全員が現地に早く適応するためのセミナーを受けたのです。その時の講師が英語版『サードカルチャーキッズ』の本を貸していただき、その中に自分の子どもに当てはまる現象がたくさん描写されているのを見て驚きを覚えたのでした。

サードカルチャーキッズとは発達段階のかなりの年数を両親の属する文化圏の外で過ごした子どものことです。サードカルチャーキッズはあらゆる文化と関係を結びますが、どの文化も完全に自分のものではないのです。そして、かかわった文化すべてから色々な要素を取り入れて独自の融合文化を形成していきます。どこにいても「浮いてしまう」という疎外感のかたわら、国や文化を問わず、同じような体験を持つ人に強い同族意識を感じるのです。

サードカルチャーキッズという言葉は1950年代にアメリカ人社会学者のウシーム夫妻が言い出しました。ウシーム夫妻の研究はインドにおけるアメリカ人駐在員を対象としていました。研究対象は他国の駐在員にまで広がり、海外駐在員が形成するライフスタイルには特有のものがあることを発見したのです。そして両親の文化を「第一文化」、生活圏の現地文化を「第二文化」、その二つの文化の間にあるものを「第三文化」として、この「はざま文化」の中で育つ子どもたちを「第三文化の子どもたち(サードカルチャーキッズ)」と呼んだのです。

筆者が翻訳した『サードカルチャーキッズ 多文化の間で生きる子どもたち』は純アカデミックから一歩出て、色々な体験談を交え心理学的なアプローチを盛り込んだ構成となっています。筆者が原著者ルース=ヴァン・リーケンと話した際、次のような会話がありました。ウシーム博士たちは「サードカルチャーキッズはあくまでも学術研究の対象であり、自分たちはその現象を捉えていくだけ



継承語教育を目的とする「なみあいキャンプ」

©なみあいキャンプ

だ」と言ったそうです。そして、そのコンセプトを社会に広めて、実際にサードカルチャーキッズを支援していくのはルースたちに任せる、とも言ったということです。さらにルースは「日本の社会にこのコンセプトを広めて支援するのはあなたたち(共訳の嘉納先生と筆者)に任せるのでよろしくね。」と付け加えました。

## サードカルチャーキッズの特徴

サードカルチャーキッズには利点がたくさんありますが、単一文化に育った人間にはなかなか理解することのできない困難にも、たくさん向き合わなければなりません。

まず、親について色々な場所を転々とし、生活するコミュニティーごとに全く違う価値観や慣習を見ると、どの文化の基準を身につければいいのかわからなくなることがあります。たとえば思春期に

は、通常、それまで身に付けてきた既存のルールに反抗することでアイデンティティを確立していくことが言われますが、文化によって違うルールを見てきたサードカルチャーキッズは、単一文化で育つ子どもたちが普通に通る道を通れないことがあります。どの文化のルールに従ったり反抗したりするのかわからない、親の異文化適応の苦勞を見て自分の感情を押さえ込んでしまう、そうして反抗しなければいけない時期に反抗できなくなってしまうのです。すると思春期遅滞症といって、ずっとあとになって（自分を連れ回した）親を恨んだり、自暴自棄になったりすることがあるそうです。

では、親や周囲の人はどうしたらよいのでしょうか。本書の特徴はそのサードカルチャーキッズへの手助けとして、心理療法の「グリーフ（悲嘆）ケア」を取り入れていることです。「グリーフケア」は近い人が亡くなった時、その大きな喪失感から立ち直っていく過程を助けます。サードカルチャーキッズは、自分の意思とは別に根ざすべき場所が定まらないまま色々な文化を移動することにより、たくさんの「見えない喪失」があるというのです。祖父母・親戚・友人との交流や住みなれた家を失うということに始まり、音・香り・習慣といったなかなか失ったことに気がつかないものまであります。筆者は一昨秋、夫の転勤のため再び日本で生活することになりましたが、10年ぶりの金木犀の香りに懐かしさで胸がいっぱいになりました。大人でさえ、国や文化を越えて生活すると失ったものへの憧憬があるのに、まだ人格形成期にある子どもが受ける喪失の影響はとて大きいでしょう。

## 周囲の人のサポート

親ができることとして、子どもの話をよく聞き尊重する、その「尊重している」気持ちを伝える、などがあります。また、移動に際して、たとえ最終的な決定権がないとしても話し合いに子どもを加える、子どもの感情を理解するように努めることも大切です。また、子どもが「区切り」をつけることを手伝うということがあります。たとえば移動の時期はなるべくなら学期末、学年末が望ましく、友人や知人にきちんと「さようなら」を言うことです。中途半端な気持ちのまま、次の地に移動してしまうと、いつまでも先に進まず、後ろを振り返ってしまうことになります。新しい土地で健全なスタートを切るためには、たとえ面倒でも一つ一つの出来事や人間関係に節目をつけていくことが重要なのです。

また、周囲の人（配偶者・学校関係者・支援者）ができることとして次のようなことがあります。それは、まず「話を聞く」「話を引き出す」ということです。自分や自分の体験に興味を持っている人物が目の前にいると、それまで心の引き出しに仕舞っていて、その存在さえ忘れていた数々の出来事や感情が、サードカルチャーキッズの口から出てくるでしょう。「どんな気持ちだった？」「いちばん大変だったことは？」「いちばん好きだったことは？」このような導入の質問は、質問者がさらに込み入った話を聞く用意があることを示し、当人が立ち止まって考えることをしなかった問題について、深く考える機会となるでしょう。その際に「世の中にはもっと大変な経験をした人がいる」などと他人と比較することは言っ

けません。またプラスの面を引き合いに出して元気づけようとしてもいけません。ただ話を聞くことが大切なのです。

## 広がる定義

さて、本書に書かれている一部を踏まえて筆を進めてきましたが、ここで、改訂版についての言及をさせていただきたいと思います。日本語の翻訳作業と原著者の改訂版作業が同時に進んでいたのですが、原版元との出版期限の関係で、本書には改訂版が一部しか反映されなかった経緯があります。原著改訂版の大きく変わった点は、昨今の移民や難民の現状を踏まえたサードカルチャーキッズの定義の拡大です。『Ja-Net』52号（2010年1月25日）の一橋大学大学院教授 伊豫谷登士翁氏は巻頭寄稿でこのように指摘されています。「グローバル化といわれる現在、世界中でおよそ2億人を越える人たちが自分の生まれ育った国を離れて、海外で生活を営んでいる」。また氏は続けて、「日本においても、すでに二百万人を越える外国人が生活しており、その数は今後も確実に増え続ける」と言っています。サードカルチャーキッズはこれまで主に、比較的豊かな層（外交官・国際ビジネスなど）を指して来ましたが、ここ20年ほどで様相はだいぶ変わりました。現在では以前のような特権層ではないサードカルチャーキッズが多く見られるようになりました。

改訂版では割れる意見について述べています。従来のウシム博士の定義を満たす者のみがサードカルチャーキッズ、いや異文化体験を持つ者はみなサードカルチャーキッズ。確実に言えるのは、ウシム博士の定義を出た広範囲の人たちがサードカルチャーキッズの本に同感し、自分や自分の子ども、もしくは教育現場で接している子どもを重ね合わせることです。ウシム博士自身はサードカルチャーキッズ改訂前の段階でも「社会現象が変われば定義も変わる」と述べています。原著者ルースは議論を収めるべく「クロスカルチャーキッズ」という言葉を使おうと言いました。これには、多文化家庭の子ども・移民の子ども・難民の子ども・自文化の中で生活しながら異文化の教育を受ける子ども、なども含めることができるというのです。この新語がサードカルチャーキッズに取ってかわるかどうかは今後見ていきたいと思っています。

筆者は、定義や呼称にとらわれることなく、サードカルチャーキッズの本が多くの人の助けになることを望みます。

日部八重子（かべ・やえこ）

東京外国語大学大学院言語学修士。コロンビア大学日本語教授法修士課程在学中。2010年6月までニュージャージー大学日本語講師を務め、現在は日本在住。

『サードカルチャーキッズ  
多文化の間で生きる子どもたち』  
デビッド・C. ポロック、ルース・ヴァン・リーケン ● 著  
嘉納もも、日部八重子 ● 訳、小社刊（2010）  
1,680円（税込）ISBN978-4-88319-526-8



## 学習者の目

## View from the Other Side

このコラムでは、  
学習者の視点での話題を  
お届けします

## ITで日本語の学習をもっと楽しくしたい

マーク・アレクサンダー・カーティアン (フランス)

—奥様との出会いは来日の際の飛行機の中だったそうですね。

そうですね。初来日の飛行機で隣に座っていたのが今の妻です。フランスから日本までは飛行機で約12時間かかりますが、その間の半分近く、彼女とおしゃべりしていました。初めての日本で日本人の知り合いはだれもいないし、日本語を話すこともまったくできませんでしたが、彼女の存在はとても心強く感じました。機内でいくつかのサバイバル日本語を覚えてもらったのが彼女との出会いです。



向井

—日本の印象はいかがですか。

来日してしばらくはレストラン巡りが楽しみのひとつでした。メニューに料理の写りが載っていない場合は書かれている日本語を適当に指差して料理を注文しました。どんな料理なのかまったく見当もつかず、とてもスリルがありましたが、運ばれてきた料理はどれも大変おいしかったです。その頃、今の妻に鯨料理の店に連れて行かれたことがあるのですが、そのときはちょっと困ったのを覚えています。

—奥様が日本語を教えてくれたのですね。

妻は2年間フランスで暮らしておりましたので、ある程度フランス語を話すことができます。ときには私に日本語の意味や読み方などをフランス語で教えてくれますが、日本語の文法などについて彼女に質問しても、うまく説明できないようです。どうもフランス語と日本語とでは言葉の並び順が逆のような感じがしますね。日本語は難しいです。

—日本語はどのように勉強したのですか。

来日後2年くらいは日本語の先生からマンツーマンで日本語を教わりました。週2回、1回当たり2時間のレッスンでしたが、2時間集中力が続かないので、途中から1回を90分に変更してもらいました。

レッスンはひらがな、カタカナから始まり、1年半後には『みんなの日本語初級Ⅱ』を半分程度マスターできました。しかしITエンジニアとして来日したのでその仕事も忙しく、日本語の勉強に割け

る時間は残念ながら少なかったように思います。週2回のレッスンもしばしばお休みしましたし…。

—今は日本語の勉強はどのようにしていますか。

初級日本語の勉強は既に終わっていますが、自分の言いたいことをフランス語から日本語に置き換えて会話しているのが現状です。もっと日本語がスムーズに話せるようになりたいです。

日本語を勉強したくても時間の取れない学習者は大勢いるのではないのでしょうか。そこで自分なりに日本語の学習コンテンツを考えながら日本語を勉強しています。英語では自分の割ける時間の範囲内で楽しく、しかも効果的に学習できるコンテンツがたくさんありますが、日本語でも同じようなコンテンツを実現できるかもしれません。子ども向け、大人向け、ひと目で理解できるよう動画を使ったもの、学習者の興味をひくテーマが選ばれたもの、わからない点をすぐに調べられる機能の付いたものなど、様々なコンテンツが考えられますが、こうした問題はITで解決できると思います。私は外国語の学習をもっと楽しくしたいです。

—これからはなにをしたいですか。

私の両親は1979年にルーマニアからフランスに渡ってきた移民です。父はエンジニア、母は美術の教師をしています。私はフランス語と英語を話しますがルーマニア語は話せません。古い思い出の中ですが、小さい頃は私もルーマニア語を話していたと思います。今は両親がルーマニア語で会話しているのを私もときどき耳にすることがありますが、一部のキーワードを聞いてわかる程度です。機会があればルーマニア語を勉強したいと思います。しかし、今は日本で生活しているのですから日本語の学習が最優先です。

それにしても日本は安全ですね。また、きちんと時間を守る日本人との仕事はとてもやりやすいです。このたび、ITソフトの会社を日本で立ち上げました。今後はITソフトの使い方の指導をしたり、ヨーロッパで市販されている教材ソフトを日本市場で販売する仕事を進めていきたいと考えています。

日本に来て家族もできましたし、しばらくはこのまま日本で生活したいと思っています。

マーク・アレクサンダー・カーティアン

1980年フランス、パリ生まれ。大学ではコンピューターサイエンスを専攻。大学卒業後3年間、フランス国内でソフトウェア開発技術者として働いた後、2007年11月初来日。2009年日本人女性と結婚し、長女誕生。2010年東京でIT企業を設立。

<http://www.macartiant.com>

あちこち

## 日本語

ご紹介 国内編

愛知県  
名古屋市0才から80才まで活動する  
ボランティア

「ことばの会」代表 鈴木勝代

## 名古屋市の特徴

愛知県は東京に次ぐ22万人以上の外国人登録者があり、7万人近い日系ブラジル人が多く働く県として全国に知られています。しかし、集住しているのは自動車関連の工場がある三河地区などの地域です。名古屋市内は中国、韓国・朝鮮、フィリピンの順で、ブラジルは4番目。市内の日本語教室にやってくるのは主にアジアの人々です。

現在、愛知県内には100近いボランティア日本語教室があり、ほとんどは各市町村の国際交流協会によって運営されています。名古屋市内で活動する教室は任意団体によるものが多く、「ことばの会」も民間で自主的に立ち上げた日本語教室の一つです。

## 教室の概要

「ことばの会」は1991年に半年の準備期間を経て、9月から名古屋市女性会館を会場に日本語支援を始めました。「日本で暮らす外国人が少しでも暮らしやすくなるために日本語習得のお手伝いをする」ことをモットーとしています。初めはたった2人の中国人留学生と10人のボランティアで教室をスタートしました。その後、外国人の増加とともに、学ぼうとする人たちが集まるようになり、教室としての体制が整いました。当初は水曜日だけの活動でしたが、中級の学習者から「もっとたくさん話したい」と切望され、94年から金曜日にも中上級のための教室を開くようになりました。現在は25カ国120人以上の学習者が毎週集まり、日本語で活気にあふれたやり取りをしています。ボランティアスタッフは男性陣が5人と少ないのですが、元気な女性陣と水・金合わせて50人が毎週活動に参加しています。

## 教室の形態

①サバイバル(入門): 初めて日本語に触れる人たちに日本語を好きになってほしい、日本語は役立つことを知ってもらいたいというクラスです。1ターム15回の

どこから参加してもよく、すぐに使える会話やひらがなの練習とともに、授業の中で名古屋市のゴミの出し方や地下鉄の乗り方などの生活情報を入れていきます。

②初級: 『みんなの日本語』を使って、レベル別にクラスが設けてあります。

③中・上級: 日常会話ができるようにになると、個々に学びたい内容が分かれ、能力検定クラス、漢字(非漢字圏の人用)クラスなどがいくつかあります。かつての企業戦士は80才を越えても現役で、ビジネス会話の相手を務めていますし、最上級では『源氏物語』も精読します。

## 「ことばの会」の特徴

①運営スタッフ: 受付には10:00~11:30まで授業の間中、常時5人のスタッフがいて、新しく来た人の応対や外国人の様々な相談に乗ります。また、週毎にあるミーティング、サロン、学習者から話を聞く会、テキスト勉強会などを企画します。

②親子教室: 日本人でも子育てには不安があります。ましてや異国の地で日本語もできないまま家には子育てに必要な情報も入りません。「日本語を勉強したい」という子連れ学習者にとって、日本語習得と子育て情報の2点で、安心して外出できる場所「親子教室」が必要だと考え、2000年9月から、教室活動の一環として、「親子教室」を始めました。

幸い女性会館には託児ルームがあり、遊び道具や絵本が常備されています。お母さんたちは小さな机で日本語テキストに向かいます。それ以外に、入園案内・離乳食の作り方・病気の情報・予防接種などの育児情報も教材として使います。ここで対応しているのはベテランスタッ



親子教室: 子どもたちが遊ぶ傍らでお母さんは日本語学習

フと自身も子育て中のスタッフです。以前はボランティアは子どもが保育園に通うまで活動を休んでいましたが、親子教室ができてからは子連れでボランティアをしています。

子どもは子ども同士で一緒に遊び、母親同士は日本語学習、子育てについて話します。0才でも遊ぶボランティア!

## 仲間たち

「ことばの会」は毎回スタッフ全員が集まり相談できるので、改善した方がいいと思われることは即実行できます。また、仮にそれがうまくいかなかった場合の撤回も即決できます。この変わり身の早さが会の持ち味です。また、東海日本語ネットワークに所属し、他の教室と連携することで情報交換ができ、研修会にも皆が積極的に参加しています。

最後に、「ことばの会」は学習の場であると同時に、日本人・外国人といった国を越えた友達としてつき合いのできる場になっています。母語の違う人たちが日本語を話すことで、お互いの絆を深め、友情を育み、悩みも共有します。今では、料理教室や日帰りツアーなどを自分たちで企画して、逆にボランティアを誘ってくれることもあり、うれしい限りです。

ことばの会:

<http://www.geocities.jp/kotobanokai2005/>

あちこち

## 日本語

ご紹介 海外編

ミクロネシア連邦  
ポンペイ島

「日本語大好き！」急増中

College of Micronesia-FSM Japanese Language Instructor 谷川順子  
JICA青年海外協力隊日本語教師隊員 神野愛子

「カセレーリエ！」今朝もこの挨拶で1日が始まりました。ここは太平洋上に大きく広がるオセアニアでもミクロネシア（たくさんの島々があるところの意味）と呼ばれる地域にあるミクロネシア連邦の首都パナキールがあるポンペイ島です。ミクロネシア連邦はポンペイ、ヤップ、コスラエ、チュークの4州にある607の島から出来ています。総面積は約702平方km（奄美大島とほぼ同じ）で、人口は108,105人です。ここ首都ポンペイ州の面積は330平方kmで、人口31,500人程です。こちらでは誰と会ってもまず笑顔でこの挨拶を交わします。この国には8つの母語があり、公用語としては英語が教育や公の場面で使われていますが、挨拶や日常会話は昔ながらの地域の言葉が使われています。

College of Micronesia (COM) の  
日本語教育

COMは1993年に設立されたこの国唯一の国立高等教育機関です。キャンパスは各4州とポンペイ州にメインキャンパスがあり学生数は2010年秋季学期の入学生が2,699人でした。カレッジとはいえ学科は17学科あり、コースも1年制の専門学校的なものから4年制の大学卒業と同等のディプロマが取得できるものまで様々です。奨学金で学ぶ学生がほとんどで、卒業後は大半がハワイやグアム等に留学、就職します。日本語は外国語選択科目としてBasic Japanese I, IIと観光科必修科目としてJapanese for Hotel and RestaurantのBasicとSituationalの4科目があります。他の外国語は中国語です。Basic Japanese Iは入門コースとして学期により2~3クラス開講されますが、最近では高校で日本語を学習して来た学生が目立ちます。日本語教育関連のJICA隊員が派遣されている高校は、2010年11月現在、ヤップ、チュークそしてポンペイに1校ずつあります。

Pohnpei Island Central School  
(PICS)の日本語教育

PICSはポンペイにある3つの公立高校のうちいちばん大きな高校で、9年生から12年生の4学年、約1,600人の生徒と約70人の教師がいます。日本語の授業は11年生と12年生の選択科目と位置づけられていて、日本語Iと日本語IIの

初級クラスを開講しています。2010年8月現在、PICSで日本語を履修中の生徒は約130人です。

毎日同じ時間割（90分授業4コマ）なので、1セメスター（5ヶ月間）で4教科しか勉強できません。でも、毎日90分も授業があればとても上達しそうですが、そこはポンペイ！ スローペースで、語学をきっちりというよりは、一緒に楽しみながら日本をより身近に感じてもらえるよう、毎週金曜日はゲーム、歌、巻きずし作り、書道などアクティビティの授業をしています。

Pohnpei Visitors Bureau (PVB)の  
日本語教育

観光局の協力隊員と連携し、観光に従事する現地の社会人を対象に観光日本語の教室を開きました。4月は実験的な試みで1時間の授業を全11回行いました。内容は観光局に日本人観光客が来た場合を具体的に想定し、会話を主に練習しました。日本語だけではなく、日本人観光客に教えてあげたら喜ばれそうなポンペイ情報や、例えば、初対面で年齢、結婚、子供の有無などを聞くのは失礼である、日本人には犬はペットなのでその感覚でポンペイの犬に近づくのは危ない等、日本とポンペイの常識・非常識を話題に取り上げ雑談をしたことも好評でした。通常業務の後に授業をしていたので、疲れてしまうかと思いきや、想像以上に熱心に勉強しているのを見て、本当に日



ひらがなカードでことばをつくるゲームを楽しむPICSの日本語授業

本語を必要としているのだということに気付かされました。ポンペイに来る観光客の中で、2番目に多いのが日本人で、空港の拡張が終わる2011年からは、さらに増加すると見込まれています。ポンペイでの日本語教育は観光の現場にこそ需要があるのに、まだまだそこには届いていない状態なので、今後も続けていけるよう働きかけていこうと思っています。

10月からは新たに、ホテルやレストランに勤務している人を対象としたクラスも開設しました。こちらは予想をはるかに超えた申し込みがあったので、COM日本語クラスの学生に応援を求め、学び合いクラスとしました。停電の時でもエアコンも照明もない教室で汗をかきながら、日本語学習を楽しんでいます。

これ以外にもCOMで夏休みの4週間に行われた小学生対象のデイキャンプカリキュラムでは日本語での挨拶や歌を組み込んだりしました。これは参加した学童だけでなく保護者からも好評だったことから当地での日本語人気がおわかりいただけると思います。

ポンペイ島はグアムとハワイの間に位置する遠くて小さい島です。豪華な観光施設はありませんが、豊かな自然と温かい微笑みがあふれています。是非遊びにいらして下さい。

# 教材 紹介

『日本語初級1 大地 教師用ガイド「教え方」と「文型説明」』  
『初級日本語学習者のための待遇コミュニケーション教育  
—スピーチスタイルに関する「気づき」を中心に—』  
『改訂版 読むトレーニング 基礎編・応用編 日本留学試験対応』

## 『日本語初級1 大地 教師用ガイド「教え方」と「文型説明」』

山崎佳子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子

『日本語初級 大地』は初級の段階から、自分自身を語るように、また、話す相手を意識し、状況に合わせて運用できるようになることを目指して作られました。イラストが多く、タスクもふんだんにあって、楽しく活動できるテキストです。

現在、『メインテキスト』1、2と『文型説明と翻訳』1、2（英語、中国語、韓国語版）、『基礎問題集』1、2が既刊となっています。このたび、『教師用ガイド』1が発行されました。

ガイドには各練習のウォーミングアップから発展練習までの流れが示されています。CD-ROMには、イラストカード158点、文字カード433語、および加工可能な語彙リストが入っています。

### ●『日本語初級1 大地 教師用ガイド』

#### 目次

『教師用ガイド』は以下の4つの部分からなっています。

#### 1章 『メインテキスト』の進め方：

- ・構成の説明
- ・さまざまな形式別練習問題の進め方

#### 2章 各課の教え方：

- ・ひとつひとつの練習についての具体的な進め方（内容例1参照）

#### 3章 文型説明：

- ・『文型説明と翻訳』（各国語版）の文法部分の日本語訳（内容例2参照）

#### CD-ROM：

- ・イラストカードと文字カード（PDF）
- ・語彙リストと活用表（excel）

### 第2章 各課の教え方（『教師用ガイド』72頁）

（内容例1）

到達目標：ものや人、場所について特徴が言える  
比較ができる  
2つ以上の形容詞を使って表現できる

#### 1-1.

ポイント：犬などの描写ができる・「N1はN2がA」

新出語：鼻、目、首、足、耳、顔\*、口\*、体\*、長い、短い

用いる物：㊦文字カード㊦助詞「は」「が」

練習の仕方：①体についての語彙を教え、Tが「鼻」と言ったらSは鼻を指さすよう指示して練習する。ペアでも練習する。②長い、短い、黒い、白い、大きい、小さいなどの形容詞も復習してから、『メインテキスト』の犬について描写する。㊦㊦ 自分のペットなどについて特徴を言い合う。

板書：この いぬ は はな が くらいです。

留意点：・Sが必要なら語彙を追加する。  
・クラスメートの身体的な特徴については扱わない。

発展練習：グループで自由に犬の特徴を考えて絵をかき（制限時間指示）、発表する。発表の際、鼻、目、首などの語彙を必ず使うように指示する。『文型説明と翻訳』P.142参照。



### 第3章 文型説明（『教師用ガイド』160頁）

（内容例2）

#### ●N1はN2がA

物や人の特徴を述べる表現です。N1は文の主題で助詞「は」を伴います。「N2がA」はN1の解説です。N2は形容詞の主語で、助詞「が」を伴います。上記の文は直訳すると、「訳」です。

N1は N2がA

↑ ↑  
文の主題 主題についての説明

### 日本語初級1 大地 教師用ガイド 「教え方」と「文型説明」



B5判 183頁+CD-ROM 1枚付 2,940円

山崎佳子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子 著

## ◆活動が豊富な初級テキスト 日本語初級 大地 シリーズ

好評発売中！

- 日本語初級1 大地 『メインテキスト』B5判 195+46頁、CD1枚付 2,940円  
『文型説明と翻訳』（英語版・中国語版・韓国語版）B5判 162頁 各2,100円  
『基礎問題集』B5判 60+12頁 945円
- 日本語初級2 大地 『メインテキスト』B5判 187+44頁、CD1枚付 2,940円  
『文型説明と翻訳』（英語版・中国語版・韓国語版）B5判 156頁 各2,100円  
『基礎問題集』B5判 56+11頁 945円



メインテキスト



文型説明と翻訳



基礎問題集

## 『初級日本語学習者のための待遇コミュニケーション教育-スピーチスタイルに関する「気づき」を中心に-』

シンガポール国立大学語学教育研究センター所長補佐、日本語プログラム主任講師 ウォーカー泉

「日本語は敬語が難しい」という声をよく聞きます。それは、言葉としての敬語、例えば、「いる」の敬語は「いらっしゃる」であるということ以上に、それをいつ、だれに対してに用いたらいいか、といった「場面の把握の困難さ」によるものであると言われていま

す。それは本当なのでしょうか。もし、本当であるとすれば、その困難さを克服できるような指導を早期段階から行う必要があるのではないのでしょうか。では、そのために、教師はどのような授業をめざし、どのように実践すればよいのでしょうか。

本書は、これらの問いに答えるために、「スピーチスタイル」という観点から初級学習者の「気づき」を調査し、学習者の目に映る日本語の「待遇」の実態を浮き彫りにしました。さらに、ベテラン教師による授業をもとに、「待遇」を重視したコミュニケーション能力、すなわち、「待遇コミュニケーション能力」を高めるために有効な「教授ストラテジー」をまとめました。第二言語習得理論、語用論的知識の習得理論、待遇表現教育研究に基づいて考察した本書は、現場の教師やこれらの研究に携わる方々にも新たな視点を提供できることと思います。

初級日本語学習者のための  
待遇コミュニケーション教育  
スピーチスタイルに関する「気づき」を中心に

A5判 350頁、3,150円 ウォーカー泉 著



## ●本書の流れ

## 第1章 序論

研究の目的と意義、「待遇コミュニケーション教育」とは何か



## 第2章 研究の理論的背景

「待遇コミュニケーション教育」における「気づき」の重要性



## 第3章 研究の焦点

日本語のスピーチスタイルの特徴と教育の課題



## 第4章 実践の背景

初級学習者のスピーチスタイルに関する知識



## 第5章 研究 I: 「観察タスク」による「気づき」

スピーチスタイルに関する初級学習者の「気づき」



## 第6章 研究 II: 「気づき」を促す「教授ストラテジー」

会話練習において「気づき」を促すための方法



## 第7章 結論

スピーチスタイルを中心とした「待遇コミュニケーション教育」

## 『改訂版 読むトレーニング 基礎編・応用編 日本留学試験対応』

元国際交流基金日本語上級専門家 三上京子

本書は、『読むトレーニング 基礎編』(2004)、『読むトレーニング 応用編』(2005)の改訂版です。『読むトレーニング』は、学習者が様々な分野の文章を読んだり、問題を解いたりしていく中で、「読む」とはどういうことか、「読む」ためにどんなストラテジーが必要になるのか等を意識し、自然に「読む」力をつけていくことができるよう工夫された教材です。対象者は、基礎編が初級修了段階から中級前期まで、応用編が中級から上級をめざす学習者となっています。出題の形式は、日本留学試験に対応できるように作られています。一般の日本語学習者にとっても、「読む」ためのとてもいいトレーニングになると思います。

本書の構成は、基礎編、応用編とも3つのパートからなっています。パート1の「例題と解説」編では、必要な情報を探す読み方や、対になっている語、比喩表現等様々なタイプのキーワードを手がかりにしていく読み方を、基礎編で5つ、応用編では7つの「読解ストラテジー」として提示しています。それぞれのストラテジーを学ぶための例題には詳しい解説を用意し、さらに同様の練習問題をつけました。解説部分は英語・中国語・韓国語と3か国語の翻訳もついていますから、学習者が自習する際にも役立つと思います。パート2は「練習」編で、パート1で学習したストラテジーを用いながら、44題の練習問題を解いていきます。パート3は「実践」編です。実際の試験問題と同じ形式で17の問題が用意されていますので、試験に備えて力試しをすることができます。

今回の改訂は、2010年に日本留学試験「日本語 読解」の出題形式が変更されたことに伴うもので、パート2とパート3に短文の複問(問題が2つあるもの)と長文(問題が3つあるもの)を追加しまし

## 本書の構成と改訂のポイント

- ◆パート1「例題と解説」編：例題と解説、確認問題  
一部問題を変更(基礎編)
- ◆パート2「練習」編：練習問題/44題  
短文(単問)36題、短文(複問)8題に変更(基礎編)  
短文(単問)34題、短文(複問)8題、長文2題に変更(応用編)
- ◆パート3「実践」編：力試し問題/17題  
短文(単問)10題、短文(複問)6題、長文1題に変更(基礎編)  
短文(単問)10題、短文(複問)6題、長文1題に変更(応用編)

た。また、読解文の内容が時代に合わなくなったと感じられるものは、新しいものに差し替えています。

学習者の皆さんが、本書を通して「読み」のストラテジーを身につけ、楽しみながら「読む」トレーニングをしてくださることを願っています。

改訂版 読むトレーニング 基礎編  
日本留学試験対応B5判 139頁+解答14頁、1,260円  
和栗京子・三上京子・山形美保子・青木俊憲 著改訂版 読むトレーニング 応用編  
日本留学試験対応B5判 145頁+解答18頁、1,470円  
三上京子・山形美保子・青木俊憲・和栗京子 著



SEMINARS

セミナー



スリーエーネットワーク主催説明会

◆『日本語初級1 大地』を使った初級日本語の  
教え方講座

日 時: 3月5日(土)、3月12日(土)  
10:30~12:30、13:30~16:00 (両日とも)  
会 場: アジア文化会館(東京都文京区本駒込  
2-12-13)  
講 師: 山崎佳子・佐々木薫・高橋美和子・町田  
恵子(『日本語初級 大地』著者)  
定 員: 40名(先着順:15名より開講)  
参加費: 無料

- ・ご参加の方は当日会場に『日本語初級1 大地』メ  
インテキストをご持参ください。
- ・原則として両日とも参加可能の方対象です。

◆『みんなの日本語初級II』研修会 札幌会場

日 時: 4月23日(土) 13:30~16:30  
会 場: 国際ホール(札幌市中央区北4条西4-1 札  
幌国際ビル8階)  
講 師: 澤田幸子(『みんなの日本語初級』執筆  
協力者)  
定 員: 100名(先着順)  
参加費: 無料  
協 力: 北海道日本語教育ネットワーク

- ・ご参加の方は当日会場に『みんなの日本語初級II  
本冊』をご持参ください。
- ・今回の講座はすでに『みんなの日本語初級』お使  
いの方を対象とさせていただきます。
- ・内容は『みんなの日本語初級II』からいくつか項  
目を取り上げる形を予定しています。

上記2件の申込み・お問い合わせ先

■スリーエーネットワーク講座係

TEL: 03-3292-6193 FAX: 03-3292-6194

e-mail: kouza@3anet.co.jp

101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3 松栄ビル  
住所・氏名・所属・電話番号・ご希望のセミナー  
を明記のうえ、電話・FAX・メールのいずれかに  
てお申し込みください。

BOOKS

ほん

日本語初級1 大地 教師用ガイド「教え方」と「文型説明」	発売中	2,940円
初級日本語学習者のための待遇コミュニケーション教育	発売中	3,150円
改訂版 読むトレーニング 基礎編 日本留学試験対応	発売中	1,260円
改訂版 読むトレーニング 応用編 日本留学試験対応	発売中	1,470円
日英対訳 外国人をサポートするための生活マニュアル 第2版	発売中	2,100円
日中対訳 外国人をサポートするための生活マニュアル 第2版	発売中	2,100円

すべて税込価格です

●新刊(2月上旬発行予定)

文章には「道」がある

Part 1: 10代20代のための日本語を読む技術  
Part 2: 10代20代のための日本語で考える技術

上原広嗣・石原知樹◎著

四六判 Part 1: 288頁、Part 2: 316頁 各1,470円(税込)

本書では「論理チャート」という「日本人のための日本語の

読み方」の技術をマスターします。本書の目的は、日本語の「文章」を論理的に読み、日本語で「論理的に考える」ことができるようになることです。素材となるテキストは、山崎正和氏、中沢新一氏、梅原猛氏、福田恆存氏、青木保氏、河合準雄氏等、一流で論理的な文章であり、それらの筆者の思考を「論理チャート」で1行1行読み解き、追思考すると、どんなに難解と思われる文章もすらすらと、まさしく「道」が見えるように読むことができます。文章を読み解くと同時にその背景となる「時代(前近代→近代→現代)の論理チャート」の説明にもこだわり、現代が抱える問題を自分の頭で考え、自分の意見を論理的に表現できるようにもなります。

◆読者プレゼント◆

本書(Part 1、Part 2)を抽選で5名様にプレゼントいたします。ご希望の方はお名前(ご所属)、ご住所、郵便番号、電話番号をご記入のうえ、『文章には「道」がある』希望と明記してJa-Net 編集室宛にお葉書またはメールでご応募ください。締切は2月15日です(当選は商品の発送をもって代えさせていただきます)。

京都国際文化協会(KICA)主催、スリーエーネットワーク協力

●わかりやすい発音を身につけるには—『毎日練習!リズムで身につく日本語の発音』研修会

日 時: 3月26日(土) 14:00~16:00  
会 場: 京都市国際交流会館1F 第一・第二研修室  
(京都市左京区粟田口鳥居町2-1)

講 師: 赤木浩文  
(専修大学国際交流センター日本語コーディネーター、『毎日練習!リズムで身につく日本語の発音』著者)

定 員: 60名(先着順)  
参加費: 一般:1,000円、学生:500円  
KICA会員: 無料  
申込先: 京都国際文化協会(京都市左京区粟田口鳥居町2-1 京都市国際交流会館3階)  
TEL: 075-751-8958 FAX: 075-751-9006  
e-mail: kicajim@mk1.mactnet.or.jp

丸善・スリーエーネットワーク共催

2011年度日本語教育セミナー①

●『日本語初級 大地』を体験してみよう

日 時: 3月26日(土) 13:30~15:30  
会 場: エルソーラ仙台 大研修室(宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER 28階)



講 師: 山崎佳子(『日本語初級 大地』共著者)  
定 員: 72名(先着順)  
参加費: 無料  
申込先: 丸善仙台アエル店洋書フロア 担当佐藤  
(宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER 1階)  
TEL: 022-264-0151 FAX: 022-264-0112

凡人社主催、スリーエーネットワーク協力

凡人社麹町店店頭イベント

●わかりやすい発音を身につけるには—『毎日練習!リズムで身につく日本語の発音』研修会

日 時: 4月2日(土) 14:00~15:30  
会 場: 凡人社麹町店(東京都千代田区平河町1-3-13)  
TEL: 03-3239-8673  
講 師: 赤木浩文  
(専修大学国際交流センター日本語コーディネーター、『毎日練習!リズムで身につく日本語の発音』著者)

・参加費無料、予約不要のイベントです。

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第57号は4月25日発行です。

2011年1月25日発行

●発行人 小林卓爾  
●発行所 (株)スリーエーネットワーク

営業広報部 Ja-Net 編集室  
〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3 松栄ビル  
TEL: 03-3292-6193 FAX: 03-3292-6194  
E-mail: ja-net@3anet.co.jp http://www.3anet.co.jp/

●印刷 日本印刷(株)

©2011 by 3A Corporation Printed in Japan (禁無断転載)